

平成 16 年度
新庁舎における市民利用施設検討委員会
第1回ワークショップの記録

平成 16 年 5 月 29 日 (土曜日) 午後 1 時 30 分

今年度 (平成 16 年度) 第 1 回ワークショップが開催されました。

通算 4 回目となるワークショップ、市民公募委員、団体推薦委員、福島大学学生の皆さんは、徐々に慣れて来たこともあり、開始前にはお互い近況報告をしたり、新庁舎に関して情報交換を行なうなど、議論の場として活気が出てきました。

今年度最初のワークショップのテーマは、

● 「市民広場についてよく考えてみましょう」 (平日利用か休日利用かも想定して)

平成 15 年度に行なった 3 回のワークショップ (以下 WS とする) では、庁舎、広場をすべて含めた形で議論してきましたが、今回は広場の機能に関して、整理してみることにしました。

15 年度のおさらいを右写真のとおりまとめて見ました。



15 年度 WS から、広場の機能として以下の 8 つの機能が提案されています。

- 1 市民活動 (イベント) 広場
(朝市・フリーマーケット・コンサート・お祭り等)
- 2 子ども広場
- 3 福島市のシンボルとしての庭
(果樹等の特徴ある植栽)
- 4 休日も開放された憩いのスペース
(ゆとりあるフラットなスペース・公園的 機能・散歩コース・東屋・池等)
- 5 市民参加のエクステリア
(ガーデニング・寄贈ベンチ・レンガ通り)
- 6 災害時避難場所
- 7 駐車場との連携
- 8 循環バスの停留所機能

エクステリア：建物の外回りや周辺域の塀，門扉，垣などの屋外構造物や植栽の総称。外構。

今回（16年度第1回）のWSでは、今後、広場に関して議論していく上で、その中心的な機能となるものを3つ挙げ、その機能を中心とした広場のイメージを固める作業を行ないました。



議論白熱、「私はこれ！」



和やかに意見交換



真剣に機能を選ぶ

まとまった意見を、模造紙に書き写し、代表者が発表、意見交換、議論に力が入って、まとまりきらなかった意見も、代表者が丁寧に説明しました。

【発表風景】



班の意見を代表して



一つひとつ丁寧に



積極的に提案して

各班から出た発表意見の主旨は、以下の表のとおりです。

選択順位	班	選んだ「広場の機能」
1	1	市民のお祭り広場 憩いのスペース・駐車場・ベンチ等に配慮
	2	大前提：緊急時のオープンスペース 市民参加の機能(エクステリア・果樹・ガーデニング・ベンチ)
	3	市民が運営する市民の安全広場 (朝市・フリーマーケット・コンサート・お祭り等) 市民活動(イベント)広場
2	1	市民参加の庭 車の入らない場所(寄贈ベンチやレンガ通りなどを見に来る)
	2	フラットなオープンスペース
	3	みんな広場・いつでも広場・手づくり広場 市民参加のエクステリア・休日も開放された憩いのスペース
3	1	市民安心広場
	2	交通体系との連携 停留所・タクシー乗降
	3	来るのに便利・帰るに便利 循環バス停留所機能

各委員が議論した結果、広場の中心的機能は、緊急時のための避難場所を前提とし、

- 1 イベント開催が可能な市民参加の広場
- 2 「憩いの庭」的な機能
- 3 交通機能(バス停留所・タクシー乗降所・駐車場)との連携機能

の、3つに絞られました。

グループ発表後、アドバイザーの先生方から講評をいただきました。

【宇都宮文星短期大学 山口哲子教授からのコメント】



今日の作業において、前回までに出てきた市民広場の持つ具体的なイメージとしての8つの機能を3つに絞ることで議論が抽象化していくのではと心配しました。

しかし、各班の絞り込み作業の中で、「誰がどうする空間なのか？」という議論を経て、「市民が」「みんなが」「自分たちで作る」という、そこを利用する主体の立場に立って考えるとといった視点が出てきたことは素晴らしいことだと感じました。こういった作業を繰り返していくワークショップの過程で、「誰かが作った所を誰かが使う広場」という他人事ではなくて、自分たちが主体となって作り上げていく自分たちの空間として、みんなが確認できるようになっていくのだろうとワークショップの良さを再認識しました。

【福島大学 山川充夫副学長からのコメント】



広場の「機能」という言葉で若干戸惑いがあったのかと思いました。8つの機能をひとつひとつ見た場合、ひとつの機能を軸にしたとき、違う機能がどう見えてくるか、そして、この機能とこの機能をうまく繋げられることができるかといったところが広場の機能の中心軸になると思います。

各班の議論は、理念的なもの、具体的なもの様々ですが、これからうまく繋げていければ良いと思います。

時間、空間、活動という3つの軸で考えて各々の機能がどこに位置するか整理してみるとまた新しい視点に立てると思います。時間の流れの中での活動の頻度や、空間の利用のされ方などを確認する参考になろうかと思います。

今日の観点で、いろんな所を見て頂きたい。市役所であれば人口規模の同じくらいの所で、郡山市やいわき市など機会があったら。

平日であれば、機能して人が活動しているところを、休日であれば寂しい状況を見て、どのように利用されているかを感じてみるのも良いかと思います。

